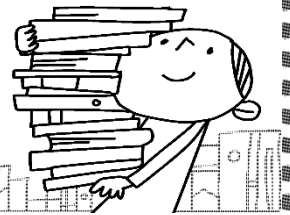


みんなでつながる わ!



今回は3年生の公開授業です。3年生は、読み物教材「すがたをかえる大豆」で学んだ説明文の書き方を、書く教材「食べ物のひみつをおしえます」で活かす学習です。

れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして書こう
「すがたをかえる大豆」
「食べ物のひみつをおしえます」 3年生

本時の目標

・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。

(思B(1)イ)

本時の流れ(本時8/9)

- ① 単元のゴール、本時のめあてを確認する。
食品をしょうかいする順番を友だちと話し合おう。
- ② 交流の手順を確認し、交流する。
・ 同じ食べ物を選んだペアで話し合う。
・ 書く順序に着目して考える。
- ③ 話し合ったことをもとに、自分の文章を読み返し、順番を決める。
- ④ 本時の学習をふり返る。
・ 友だちと交流して、考えが深まったり、発見があったりしたか。

読んでいる人が、わくわく、ドキドキびっくりする、食べ物の秘密が発見できる、そんな紙芝居、リーフレット(単元のゴール)を作るために、話し合うことを確認。

朝の読書タイムに、できあがった紙芝居を1、2年生に紹介しました。リーフレットは、図書室に展示しています。

ペア交流の様子



話し合いの方法

☆ペアで話し合い(3分間)
①となり②前後③同じ班
☆話し合いが終わったらメモをとる。(30秒間)
☆話し合う時のルール☆
①メモは話し合いが終わってから書く。
②友だちの考えを聞いたあと、「自分だったら・・・」
その考えの理由を伝える。

黒板に貼って確認した、話し合いの手順。

同じ考えでも違っていても、必ず考えとその理由を相手に伝えること、よかったのなら、どこがよかったのかを具体的に伝えることを、交流前に再度確認していました。

紙芝居で紹介



【研究協議より】

①本日の授業について

◎授業者より

順番について交流することが目的だったが、そこにたどり着くまでに課題があった。これまでの話し合い活動では、児童は相手の考えに対する意見をもつことが難しく、話し合いの内容が広がりにくいと感じることがあった。

◎交流の深まり（広がり）について

- ・机をくっつける方が、横並びで話しやすい。
- ・話し合い中のメモの取り方については、3人組だと、2人で会話し1人が記録を取るなど工夫できる。
- ・時間で思考が切れてしまうので、時間の設定の仕方が重要である。
- ・話し終えたら違う子を探してペアを組むようにすると、待ち時間に話がそれる恐れがない。
- ・本授業内でも回数を増すごとに表情よく話し合い、上達していたので、回数をこなすことが大切である。

◎目的とは違った話し合いの展開について

- ・どこに着目して話していくか、もっと明確に確認するとよい。
- ・話し合いのモデル動画、言葉や板書で話し合い方について確認する。

②話し合いの「工夫」や「手立て」などについて

- ・単元のゴールを明確にして子どもたちと共有し、主体的に取り組めるようにしている。
- ・自分の考えの深まりやよさを感じさせるには、魅力的な単元のゴールの設定が重要だ。
- ・何年生に向けてなど伝える対象が具体的だと、子どもたちの伝えようとする意欲や工夫が生まれる。他者を意識させることが重要である。
- ・なんのための話し合いなのかを子どもたちに強く意識させている。
- ・協働学習で、グループで話し合う経験が積み重なっている。相手に伝えることに慣れることは、対話的に学習することの大前提として必要だと思う。

～授業者から～

単元を学習する前に「リーフレットや紙芝居を作るよ。」と教師が作った見本を見せたことで、「早く作りたい!」、「この食材にしようかな。」と、児童が最後まで意欲的に学習に取り組めました。最初にゴールを見せることで、なぜ今この学習をしているのかと学習に対する必然性を持たせたと思います。リーフレットは図書室に飾ってもらい、紙芝居は下級生の教室に読み聞かせに行きました。「キャラメルが牛乳からできていると初めて知った!」などと反応をもらったことで、児童が達成感を得られたと思います。

できあがった作品（リーフレット）

